

東京電力株式会社代表執行役社長 廣瀬直己 様
東京電力株式会社福島復興本社代表 石崎芳行 様
東京電力株式会社福島第一廃炉推進カンパニープレジデント 増田尚宏 様

抗 議 文

今般、東京電力(株)福島第一原子力発電所の2号機原子炉建屋大物搬入口屋上から汚染水が排水路を通じて港湾外に流出していたこと、また、同排水路の放射性物質濃度が以前から高く、汚染水が外洋に流出していた可能性を把握しながら、現在まで公表していなかった事実が明らかになった。

本市は、同発電所において汚染水漏えいのトラブルが頻発していることを踏まえ、再発防止対策の確実な実施はもとより、漁業者をはじめ市民に対する迅速かつ分かりやすい情報公開を行うよう、これまで再三にわたり申入れを行ってきたところである。

この件については、私が直接、同発電所を視察した本年2月13日、さらに東京電力(株)本店において廣瀬社長に申入れを行った2月20日の両日においても、改めて、適切な対応を求めていたところである。

そのような中、汚染水の外洋流出という、市民に大きな不安を与える問題が発生したこと、また、情報の速やかな公開がなされなかったことは極めて遺憾であり、漁業者をはじめ市民の信頼を大きく損なう行為に対し、厳重に抗議する。

今後、東京電力(株)においては、再び放射性物質が流出することのないよう、原因究明と再発防止策を徹底すること、海水の放射性物質濃度の測定頻度を増やし監視を強化すること、さらには、廃炉の作業工程の中で発生する全ての事象において、環境へ与える影響を的確に判断し、市民に対する迅速で分かりやすい情報提供を行うよう、改めて強く求める。

平成27年2月26日

いわき市長 清水 敏男